





### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩  
とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



### 新春を迎えて

山梨県神社総代会

会長 中 込 豊 秋

明けましてお芽出度うございます。健やかな新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。

畏くもご心中を天皇陛下におかれましては昨年八月八日、録画ビデオを通して全国民に向けて日頃お考えになられておることとを、ありのままに語られ、何よりも国、国民の安寧と幸をお考えになられ、天皇として全身霊を公務に尽くされておられ、今上天皇の姿勢は尊く有難く思います。陛下には高齢による不安を感じられその責に耐えられなくなることをご心配なされておられるようであります。

なお天皇家の諸行事を簡素化すべきであろうとの思いもあるように思われます。陛下がお元氣な今、ご自由に過ごされる時間を留意されることが大切と思われまふ。国民として陛下にはいつまでもお健やかならんことを心よりご祈念申し上げます。

さて昨年は予想外のことが多くありました。六月国民投票の結果英国がEU離脱。北朝鮮のアメリカまで届く長距離ミサイル発射実験。米国の大統領選挙に於いては多くのマスコミの予

想がはずれ、自国中心主義者のトランプ氏が当選。年末近く韓国の朴槿恵大統領の中途退任等、想定外の大変化の年でありました。本年は我が国でも永年の外交課題でもある北方四島返還並にロシアとの平和条約交渉等、片方米国新大統領トランプ氏の日米両国の安全保障、保護主義的な貿易政策、TPPから即脱退を明言するなか日本の政治、経済両面とも多難な年になりそうです。

去年七月の参議院議員選挙は憲法改正に前向きな議員数が三分の二を超えました。この際地球規模で世界の情勢と日本の行末を確り見極め独立国として先ず我が国を守り、各国と連携し集団自衛に依る平和貢献は必要であります。

本年国旗掲揚推進運動も三年になります。節目として支部毎に成果を検証し、今後の検討課題とし、モデルとなる場所の選定、他総代、神職方の徐々に数を増して居る忌憚のないお話を伺いたい。三年後東京オリンピック、パラリンピックまでは運動を推めたく思う。

山梨県神社庁創立七十周年記

念事業、最重要事業である、不活動神社対策、この事業は三年前委員会に立上げましたが、委員長のみ活動であり、空白の三年であり、理事の一人として申し訳なく思います。本年はその責を果し、与えられた役割を全うします。昨年は総代会としても県下神社総代会としても県下神社総代会各位に協賛金へのご協力をお願い申し上げたのは県下千二百六拾六社のお社のあるうち、不活動神社(県指定九十三社)予備社を含めると二百社を超え、その主な原因は過疎化、少子高齢化等による影響を受け、例祭、地域の祭も催行されない神社。宗教法人故に解散届を法務局に提出しなければなりません。氏子さん代表も居ない神社は元氏子を探し総代を願ひ数人に依る協議書を作成等諸費用、用員は神社庁の負担となります。この様な状況で総代会としても協力して参り度いと思ひます。

私は総代役員会で協賛金について案内書を説明致しました。席上古老総代が、出して戴く方ではなく、出す側におることは恵まれておることだネ、この一言で百口となりました。年輪を重ねた説得力でした。募金活動は非常に大変で、時の流れは待つてくれません。今日を生きる総代としてぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

神社庁設立七十周年記念  
平成二十八年年度神社関係者大会

平成二十八年度の神社関係者大会が昨年十月二十六日、コラニー文化ホールにて開催された。今大会は山梨県神社庁設立七十周年の記念大会であった。

第一部の物故神職総代慰霊祭は、物故者ご遺族参列の下、齋主小佐野副庁長、副齋主中村理事、典儀日原理事、祭員を青年会員三名、伶人を神道雅楽会員六名により奉仕された。

慰霊祭では齋主に続き根津庁長、中込総代会長、御遺族代表、藤原武男、篠原敬逸、有泉誠一の各氏来賓を代表し神社本庁総代理御名代田中恆清神社本庁総長、参列者代表藤本巖山梨県神社庁前副庁長が玉串拝礼、厳粛の内に齋行された。

第二部の式典は小佐野副庁長の開式の辞で始まり、神宮遙拝、国家「君が代」斉唱、中村神社庁理事の道彦による敬神生活の綱領唱和の後、根津庁長より式辞が述べられ、次いで、中込総

代会長の挨拶があつた後、参事より庁務報告がなされた。

功績表彰では、まず山梨県神社庁設立七十周年の節目を迎えるにあたり、斯道発展、興隆に多大なる尽力をいただいた神職、氏子総代、崇敬者、団体に対し、十一項目に亘り一六五名の方々が記念表彰の栄に浴され、各項目の代表者が登壇して、根津庁長より表彰状が授与された。

次に、平成二十八年度山梨県神社庁規程表彰者十名に対し、根津庁長より表彰状が授与された。

次いで平成二十八年度山梨県神社総代会規程表彰者十二名に対し中込総代会長より表彰状が授与された。

次に、神社庁本庁規程表彰規程表彰者四名に対し神社本庁総代理北白川道久様（御名代神社本庁総長田中恆清様）より表彰状が伝達された。

次に、全国神社総代会規程表彰者二名に対し全国神社総代会会長三村明夫様（御名代全国神社総代会理事大野光政様）より表彰状が伝達された。

次に、神宮大麻頒布に尽力した神職十一名と総代三名および

一団体、二支部に対し、神宮大宮司鷹司尚武様（御名代神宮禰宜孫福弘明様）より表彰状が伝達された。

次に、めでたく卒寿・米寿を迎えられた二名の神職に、長寿のお祝い記念品が贈呈された。

次いで来賓の祝辞があり、神社本庁総代理北白川道久様（御名代神社本庁総長田中恆清様）、神宮大宮司鷹司尚武様（御名代神宮禰宜孫福弘明様）、神道政治連盟会長打田文博様、全国総代会会長三村明夫様（御名代全国神社総代会理事大野光政様）、山梨県議会議員皆川巖様の五名の方が、それぞれの立場から祝意を表した。

来賓の方々の紹介、祝電披露の後、披表彰者を代表して、東八代支部総代会長堀内文蔵氏より謝辞があり、次いで、小山神社庁理事より大会宣言案が読み上げられ、盛大な拍手を以て大会宣言が原案通り採択された。

次いで、中田神社庁理事の先導により聖寿の万歳が奉唱され、佐々木副庁長の閉式の辞によつて滞りなく大会は幕を閉じた。

被表彰者抱負

愛宕神社  
権禰宜 福田 恵介



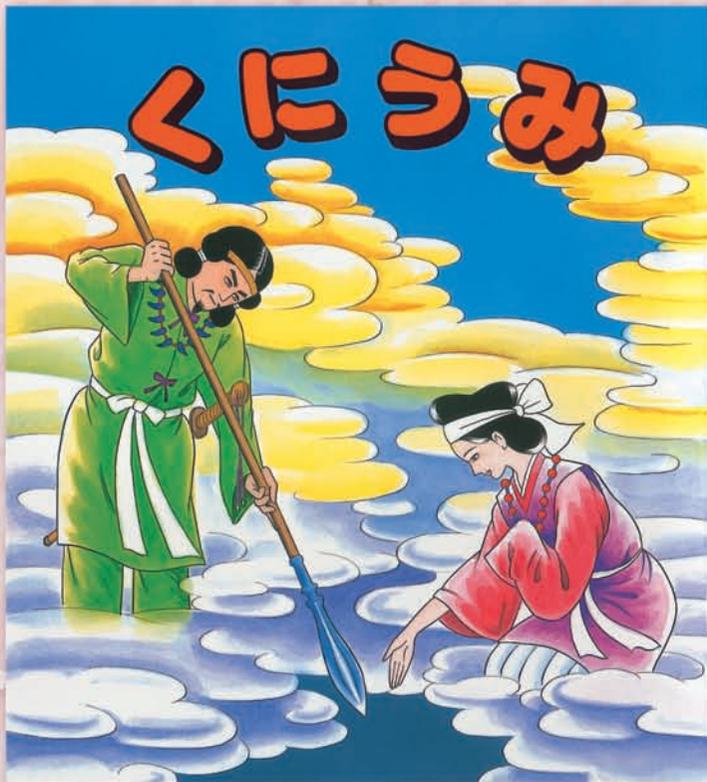
十月二十六日、県神社庁より規定表彰を授かりました。とても光栄であります。また、導いていただいた諸先輩方と、神社関係の方々に、心から御礼申し上げます。今までは、奉務神社である愛宕神社のため、自分自身のために行動してきた様に思います。ですが近年、兼務社をお任せ頂く等の環境の変化があり、それに伴い、神社への接し方が変わり視野にも変化が生じました。奉職当時よりご指導いただいた、宮司からの訓示が身に染みて思い返されます。これからは、神社界を、もっと広い視点で見れる様に努力したいと思っております。





# まんが古事記

## くにうみ (第二話)



お子さん、お孫さんと、  
神話の世界をお楽しみ下さい。



「全国神社保育団体連合会」提供  
問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一―二

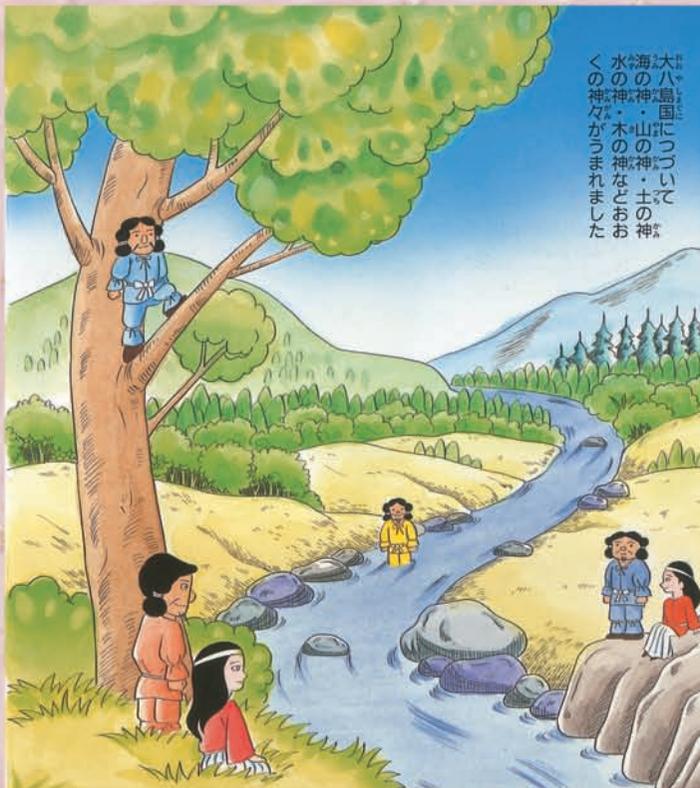
電話 ○三―三三三九―八〇―二

神社本庁内

一冊 一二〇円

### あらすじ

日本の国が誕生した頃、まだ国土は海の上をユラユラとただよっていました。それを見られた高天原の神さま方は、日本の国土をりつばなものにしようとして、伊弉那岐命・伊弉那美命の二人の神さまに天の沼矛という矛を授け、国造りをお命じにされました。二人の神さまは早速、その矛で海水をかきまわし、一つの島を造ると、そこに天降つて多くの島国、神さまたちを生みましました。しかし火の神を生むとき、伊弉那美命は大やけどをしてしまい、亡くなつてしまいました。悲しみにくれた伊弉那岐命は、伊弉那美命に会うために黄泉国へ向うのでした。







(二七七号 第三話へ続く)

# 神宮新穀感謝祭 支部報告

峡北支部

支部長 森 越 義 建

去る十一月十六・十七日の両日に亘り、伊勢神宮新穀感謝祭に神社庁峡北支部では神職・総代・氏子崇敬者一七名がバス三台に分乗し参加致しました。

この参宮行事は伊勢神宮崇敬会が主となり、国民総参宮を趣旨のもと開催されているもので新穀感謝祭は今年で第六十一回を迎えられ、今年も豊かな稔りを賜りました神恩に感謝の真心を捧げて参拝して来しました。

十六日当日は各地早朝五時三十分頃からそれぞれ所定の場所から乗車して、中央道諏訪湖サービスエリアで合流して、挨拶後一路、伊勢に向かいました。

本年峡北支部は、外宮（豊受大神宮）に於いて昇殿、神楽奉納した後、御垣内参拝をしました。

昼食後一同大鳥居をくぐり、参道に敷き詰められた玉砂利を

踏みしめながら進み、内宮（皇大神宮）での御垣内参拝を終えその後、おかげ横丁での散策を楽しみ、ホテルへ向かいました。

夜にはホテル内で懇親会が開かれ、カラオケで美声を披露する人や神職、総代等の情報交換をするなど、会も盛り上がり、懇親が深められた楽しいひと時でもありました。

翌十七日は、八時三十分頃、ホテル職員のお見送りを受けながらホテルを後にして、初めに神宮徴古館で調度品等の数々を拝観し、続いて昼食を取り一路桑名市多度町に向かいました。

祭神、天津彦根命を祀り、上げ馬神事で全国的に有名な神社「多度大社」に正式参拝を致しましたが、人員の関係もあり、各号車ごとに参拝奉仕を頂き、

講話、上げ馬神事ビデオを拝聴しながら茶菓の接待をうけましたが、神職等の姿勢に一同感銘を受けた参拝であったと喜びながら帰途につきました。

南都留支部  
支部長 上文司 厚

過日十一月十六日・十七日に、今年の神宮新穀感謝祭参加旅行が催行された。当支部は二〇六名の大勢の参加で、早朝五時程に南都留各地を出発、新東名高速道路の駿河湾沼津SAで集結し、バス五台を連ねて只管に伊勢を目指した。順調に外宮に到着、先ず御垣内参拝、続き別宮三社を遥拝した後、内宮へと御幸道を進んだ。おほらい町は馴染みの岩戸屋で新穀感謝祭弁当をいただき、宇治橋前にて列を整え参進、正宮御垣内参拝、荒祭宮遥拝し、神楽殿へ参入、

ここで東山梨、東八代、峡南、峡中の各支部と一緒に御神楽奉納を遂げた。神宮両宮参拝の緊張も和らいだ一行は、鳥羽の戸田家で寛ぎの時間に入った。二百人を超える大懇親会は、早朝からの疲れも少しも感じさせない賑わいのまま二時間を超えて

明けて十七日は帰路の途次、白雉四年（六五三）に創建の愛知県刈谷市に鎮座する市原稻荷神社に正式参拝した。三班に分か

れての参拝となったが、小嶋今興宮司を始め、職員、神社役員総出での懇切な歓迎を受けた。

二日間の日程は滞りなく終え、また来年も是非参加したいとの声が多く聞こえた事に心安心しているが、支部長一年目の不慣れを補って頂いた神職を始め御参加の皆様には感謝申し上げます。

神宮は早くも次回の遷宮に向かっていている雰囲気を感じられる。毎年の新穀感謝祭に幅広く参加してもらうことは、神宮の有難さと遷宮の意義深さを肌で感じることを促す善策であると改めて思った。



# 全国教化会議

平成二十八年年度全国教化担当者会議が、十一月二十九、三十日の両日、神社本庁にて開催され本県より中村教化委員長、金子が出席した。

本年は今期教化実践目標（氏子意識の啓発と、家庭の祭りの振興を指して）及び「三カ年継続神宮大麻都市頒布向上計画」の最終年度にあたり、各県での取組み、次期目標に向けての意見が交された。

特に、本県でも重要事業である不活動神社対策に関しては、過疎地域の神社の活性化の糸口に、地域外の人材（地域おこし協力隊）を受け入れ共に活動し、祭礼・神賑行事の復活、地域の活性化などで成果を挙げたという有益な事例や、神社から地域へ前向きなビジョンを発信していくことの重要性を窺うことができた。

今後の教化活動の取組みについては、行政や教育機関と協力した鎮守の森での催しの重要性、インターネット検索サイトでの広告や、全国放送でのテレビCMなど、若者へ向けた思い切った広報活動を本庁に要望する意見も出された。

次年度以降の教化実践目標については、現行の教化実践目標については決して高い到達をみたとは言えない、新たな目標を加えつつも、現行の教化実践目標の継続が必要であるという声が多数あった。教化実践目標は当たり前だが、目標とすべき事項の示しているに過ぎず、それに基づいての具体的な事業展開は、各県の状況により異なる。山梨県においても、過疎対策、不活動神社対策などの具体的な事業展開は、神社庁・支部・神社、神職・総代が、互いに連携のもと、それぞれの立場で課題に取り組んで行かねばならないと改めて教えられた会議であった。



## 「全教神協議会全国大会」報告

山梨県教育関係神職協議会  
副会長 竹 俣 忠 洲

第五十七回全国教育関係神職協議会全国大会が平成二十八年八月八日、九日の二日間、千葉県「ホテル ポートプラザ ちば」において開催され本県から山教神協監査、郷田盛直と小生の二名が参加した。開会式典には、根津山梨県神社庁長も列席され、神宮遙拝、国歌斉唱、教育勅語奉読、敬神生活の綱領唱和につづき、全教神協綱領

- 一、私たちは、日本の伝統を守り、神道精神の高揚に努力する。
- 一、私たちは常に中正を守り、日本にふさわしい教育の振興に努力する。
- 一、私たちは国家の隆昌と世界の共存共栄とに努力する。

と正託お 第一七五号一八頁「全教神協議会全国大会の報告」の記事中「山梨県教育関係神職協議会副会長 宮下重範」とあるのは誤りで、正しくは「山梨県教育関係神職協議会副会長 竹俣忠洲」でした。お詫びして訂正致しますと共に記事を再掲載致します。

行なわれた。その内容もさることながら講演の途中で天皇陛下の生前退位に関する天皇御自身のお考えをラジオ放送によって受講者全員が拝聴できる機会にもめぐまれ、この上ない研修であった。

戦後七十年を経過した今日、日本は経済大国として、物質的豊かさを享受できる社会をつくり上げたが、一方で占領下につくられた教育基本法の下での教育は、自己の権利や個性が強調され、優先されるあまり、古来の日本人の生活規範や価値観を崩壊させることとなった。平成十八年、教育勅語の精神をふまえた改正教育基本法が公布、施行され、戦後教育からの脱却が図られる枠組みが整えられた。今後は教育現場において、いかに意識改革を図っていくかが重要である。過去「世界にただ一つ残したい民族があるならば、それは日本民族である」と評価された日本人を育成していくのは神職であり教育者である全教神協会員全員が日本の伝統文化と精神の崇高さを人々に喚起させ、日本人としての心を養うべく「日本人の誇りと心を育てる教育を行なうこと」が本大会の目的とであると思う。

祭典を齋行して

穂見神社

宮司 森 越 義 建

「武田信虎天文年間三社に命じ云々」の伝承で、峡北一小社の穂見諏訪十五所神社が、その一社として現在も「筒粥神占」神事を毎年一月十四日から十五日にかけて行われている小正月神事で、指定種別無形文化財に成っている。

神事は、玄米五合（旧白米一升、小豆五合）と葦の筒を鍋に入れ煮、筒の中に残った粥粒を数えてその年の月並、物価、農業（田方・畑方）商工業等、災害等について、六十九事項の五穀吉凶・成否情勢などを神占し氏子の生業に資する占である。

当日十四日午後十三時頃から宮司、総代の手で準備、採ってきた葦を長さ二十七センチに切り片方の端を斜に切り、三十三本と三十六本との二連に簾状に編み上げて巻く、神前にこの葦の束二連・玄米等を奉献し、宮司総代筒粥火入れの祭儀齋行後、清められた「炊き上げ場」に移動し、切火により採火、火入れ

が行われてから中夜、神水を入れつつ、焦げないよう宮司、総代の手によって慎重に粥が炊き上げられる。

翌日十五日早朝より正午にかけて、祭儀後宮司立合いののもと、筒粥神占が行われる。

早朝八時頃祭場を準備し、炊き上げられた葦の束二連を取り出し、神前に奉献、祭儀齋行後正面に宮司、総代各六名が向い合に分かれ、三十三本と三十六本の葦を切りさきて玄米が何粒入っているかを数え各報告す。

記録係は目録に順をおって書き込み一覧表に仕上げて、最後宮司が披見する。この神占の吉凶の度は数字が高いほど、その可能性を示す占であり、従って農家は植付け品種の選定や水管理に資するとよいと言ひ伝え、厳修目録は氏子に配布される。



小室浅間神社

宮司 渡 邊 平 一 郎

一月十四日深夜より十五日未明にかけて当神社に於て、粥占祭筒粥神事が齋行された。凡、八百年以上続く当社の流鏝馬神事に並ぶ祭儀である。

筒粥神事は、粥占人として、馬占人と同様の世襲の一族が担当する。神事に先立つ正月十日頃より一族の手により準備が開始される。大釜の中の粥を攪き廻す攪拌棒、占をする為に粥の中に立てる粥柱、燠炭占いに使用する木のコマなど全て、その都度新に用意される。粥柱の下に挟み込まれる二十四本のヨシの茎は、占人である渡辺家の庭に設けられた葎ヶ池の中で育てられた清浄なヨシを使う。この渡辺家の当主は、葎池温泉の館主でもあり古くからこの葎ヶ池を守っている。ヨシの茎は長さ二〇センチほどに切り揃えて中空にして二十四本を束ね、麻縄でスグレ状に編んで二つ折りにして粥柱に挟む。この二十四本のヨシの茎は、天候に一番敏感な、夕顔から始る十八種類の作物の占いと、富士山に登る

道者の豊凶を占うのである。燠炭の占いでは、用意した十二個のコマをヒジロのオキの上に置いて三回に分け、この焼き具合で各月の天候を占うのである。本年も午後九時に本殿にて、粥占祭を齋行しその後、神職、占人、神社役員等が筒粥殿に入り修祓の後、大祓詞が奏上されてヒジロに火が入った。湯が沸騰した所で米・粟を入れて粥を炊き始め炊き上った後粥柱を神前に供え、残ったオキの上にコマを置き燠炭占をしその後神前より粥柱を下げてヨシの茎の中の粥の量により作物の豊凶を占った。結果は昨年よりも良であった。



年男 年女 平成二十九年 丁酉

年男として

昭和八年生まれの私の時代、昭和の初期は、世界大恐慌の混乱の中で日本も例外なく深刻な不況の最中でありました。

大神社 宮司 天野 武

満州事変、日中戦争、第二次世界大戦「撃ちて死すまぬ」戦争が続いた時代でありました。

昭和十五年春尋常小学校入学、翌年国民学校と改称、終戦翌年に小等科を終えた。旧制中学校に入るが、戦後の教育改革に伴い高等学校を六年後に卒業した。この間、日本は世界の国々から孤立、統制経済の中、極端な物不足、小学生でも高学年になると航空燃料になる松の根の掘り出し、松根油のもと、原野を開墾して食料増産に励んだ。又、戦後の混乱の中、教科書は粗悪紙で黒塗りだらけ、一週間毎にプリントを渡された。

神社神道との出会いは地元神主の薦めであったが、分不相応と幾度となく断ったが、抗し切れなかった。国学院大学で第八十七回神職養成講習会受講、正階三十二日間、多くの受講生と院友会館で寝食を共にした。講習会では特に、祝詞作文、神道概史、祭式実習などの復習に夜遅くまで苦労したことが懐かしく思い出される。平成六年五月大月三島神社に権禰宜として奉職、現在、大月真木地区の三社に宮司として、氏子の皆さんの支えを頂きながらお仕えしている。

最近の世相で気掛りは不確実性が増していることである。古事記の国生み神話で語られている修理固成の観念、自然界の事象と人の一体感、社会の生成発展の概念が、神社祭祀を通して脈打ち続けていることを実感している。

年男として

稲積神社 権禰宜 篠原 康正

昭和三十二年に生を授かり、今年還暦を迎えました。

幼少の頃、祖母に手をひかれ、近くの産土神社の住吉神社、稲積神社、一蓮寺に良くお参りに行っていました。平成五年、稲積神社の根津成雄先代宮司様に相談事で伺った折、神職になってみないかとお話をいただき、これも神様のご縁かと、お世話になる事になりましたが、斯界の右も左も解らない私を、今の根津泰昇宮司様を始め神社の先輩神職、総代外郭団体、甲府支部の神職の方々の教え、注意をいただきながら、又自問自答をくり返ししながら、日々神明奉仕に励んできた中、失敗も成功も、皆様に迷惑をおかけした事もあった事と思いますが、還暦を迎えることができたのも、神様のご加護、皆様の御陰と感謝の念にたえませぬ。

皇紀二千六百七十七年、平成二十九年、丁酉の酉の由来に、「果実が極限まで熟した状態」といわれ、「物事が頂点まで極まった状態」が酉年といわれますが、今までの積み重ねが、このような年になるように、少々体力に不安もあるものの、第二の誕生といわれる還暦を機に心機一転、神明奉仕に勤しんでゆく所存です。

祭典日程

2・3	甲府市住吉神社節分祭 稲積神社節分祭・甲府市中央大神宮例祭・節分祭 新倉富士浅間神社節分祭 船津八王子神社歳旦祭 船津簡口神社節分祭
2・5	市川三郷町上野表門神社一之酉祭典
2・8	御坂町二之宮美和神社湯立祭
2・12	山梨市下栗原大宮五所大神祈年祭
2・15	南アルプス市上今諏訪諏訪神社祈年祭
2・16	富士吉田市上暮地神明社祈年祭
2・17	都留市生出神社祈年祭
2・19	稲積神社祈年祭 甲府市宮前八幡神社祈年祭 新倉富士浅間神社祈年祭 富士吉田市松尾神社祈年祭 酒折宮祈年祭 韭崎市穴山町穂見神社祈年祭
2・21	北杜市大泉町逸見神社祈年祭
2・25	北杜市小淵沢北野天神社天神祭
3・1	弓削神社祈年祭
3・5	南アルプス市下宮地神部神社舟引祭
3・12	甲斐一宮浅間神社講社大祭・山宮神社
3・20	甲府市愛宕神社春季皇霊祭 一宮町橋立甲斐祭神社春季例祭 北杜市高根町建部神社祖霊社例祭
3・25	甲斐市篠原八幡神社例祭 昭和三十九年 条義清神社祈年祭
3・26	両之木八幡宮春季例祭 富士川町天神中條天満宮祭典 南アルプス市巨摩八幡宮春季例祭
3・29	甲州市勝沼町古宮天神春季例祭
4・1	甲州市塩山神部神社例祭
4・2	八代町永井天神社春季例祭 御神楽奉納 寅祭 甲府市住吉神社春季例祭 御幸祭 市川三郷町上野表門神社御幸祭 牧丘町北原神明社例祭 八代町永井天神社春季例祭 (御神楽奉納) 本祭

### 年男として迎えて

富士山小御嶽神社 権禰宜 佐々木 浩 文

御縁をもちまして山梨へ参り二十数年、年男としてこの地で早くも三回目の節年を迎えることができました。これまでに様々な事がございましたが、多くの皆様方の御指導、御支援のお蔭をもちまして、これまで奉仕できたこと厚く感謝申し上げます。

さて毎日の奉仕の中、私は朝夕の我が家の神棚祭祀を大切にしております。これは私達奉仕者としては無論の事と思いますが、何気ない日々の中で毎日の家庭祭祀を勤めることは、改めて重儀祭祀と最近感じるところです。私は独身時代から小さな神棚を設け拜しておりますが、家族を持ちその敬神の大切さを年々と咀嚼しながら感じております。家の神々に朝御挨拶し、それから奉仕神社での奉仕、そして夕には一日の無事を感謝申し上げ一日を終える。そのような日常を過ごして参りますと、最近神職として一日の奉仕の心構え、つまり信をもつて神のマコトを仰ぎ、神の中執持ちとして奉仕し、日々の生活を感謝しながら勤める。その意をようやく感じている今日でございます。また日々の神棚で祭祀する姿を子供にも感じてもらうことは大神様の無限の権威、つまりどんなことがあるかと真心こめて拝み感じることが心の教育であると感じるところです。そんなことで何気ない日常で感じることでしたが、今後も日々のこのような環境を大切にしながら奉仕を続けていきたいと思えます。今回原稿の依頼を頂き、非常に悩みましたが年男のたわいもない一言ということでお許し頂きたく思えます。私はまだ浅学非才でございますが日々研鑽を積み奉仕していく所存でございます。今後とも御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

### 三度目の年女を迎えて

菅田天神社 権禰宜 今 澤 千 絵

「コケッココ」とい声が私の幼い記憶の中には残っている。私は酉年という事もあり鳥には親しみを感じる。私の住む神社ではニワトリを飼っていた。神社という事もあり神聖な鳥の意味で飼っていたのかもしれない。世話をしていたのは専ら宮司である祖父と私の役目だった。卵かけご飯を食べた事。卵をヒヨコに孵化させた時は祖父と指折り数えて誕生を待ったりした。ニワトリとの思い出はそんな温かい記憶だ。

三度目の年女を迎えた私は今、二人の娘の子育てに毎日奮闘中だ。神社に生まれて育った私は娘達にも神社を大切に思っただけで欲しいと願っている。それはこの神社を護る為に祖父が今までどれほどの苦勞や悲しみを乗り越えてきたか知っているからだ。

私の父は三十六歳の若さで幼い私達四人姉弟を残し病気で亡くなってしまった。父が亡くなった時、祖父は何も考える余裕もなく神社を護る為に必死だったと思う。そんな姿を昔から見てきた私は十八歳の時国学院大で神職養成講習会にて直階を取得した。祖父の護ってきた神社を私も護り、後世へと継いでいきたいと思ったからだ。三度目の年女の今年は父の亡くなった三十六歳になる。今の私は父の分まで祖父を助けて少しでも祖父の力になれたらと日々考えている。姉弟四人の内三人は資格を取り私の夫も資格があるので祖父も少しは安心してくれていると思う。

これから何度もの年女を重ねていくと思うが、神社に生まれ育った事を誇りに思い、父亡き後この神社を護る為に九十七歳の今も頑張っている祖父の為に微力ではあるが私も神職を全うしていきたいと思う。

南アルプス市百々諏訪神社春季例祭  
南アルプス市藤田八幡社例祭 南アルプス市登屋神社御幸祭 南アルプス市御嶽神社春季例祭  
山町御名方神社春季例祭  
石和八幡宮春季例祭 山梨市正徳寺唐土神社春季例祭 笛吹市春日居町山梨岡神社例祭(五日) 勝沼町等々力諏訪神社春季例祭 石和町八田川中島比枝神社例祭 南アルプス市吉田豊郷鎮守諏訪神社祈年祭 御坂町二之宮美和神社例祭  
4・3

山梨市武田八幡宮祈年祭  
山梨市牧丘町菅神社春季例祭  
山梨県護国神社春季例祭 八代町北南北八代熊野神社春季例祭  
4・4  
4・5  
4・4

鈴宮諏訪神社例祭 天津司神社例祭 南アルプス市下宮地神部神社御幸祭 韮崎市穴山町諏訪神社春の例祭 富士川町諏沢八幡神社春祭  
4・9  
4・10  
4・11  
4・12

都留市田野倉三嶋神社春季例祭  
都留市勝手神社例祭  
山梨市牧丘町黒戸奈神社例祭 韮崎市藤井町福地八幡神社春季例祭 武田神社例祭  
4・15

甲斐一宮浅間神社例祭大神幸祭  
甲府市中央甲斐奈神社例祭 玉諸神社例祭  
八幡神社春季例祭 甲府市飯田八幡神社春季例祭 大明見小室浅間神社例祭 富士吉田市松尾神社例祭 忍野村内野浅間神社例祭(十六日) 御坂町二之宮美和神社三社神幸  
4・16

穴切大神社春季例祭 玉諸神社郷土の祭 玉諸地区巡行ゆき祭 酒折宮献詠祭 甲府市高畑元宮住吉神社春季例祭 甲斐市長塚神社春季例祭 新倉土浅間神社春祭 例祭 富士河口湖町白山神社春祭  
4・17  
4・18  
4・19

大嶽山那賀郡神社例祭(十八日) 都留市生出神社奥宮祭 桐原軍刀利神社例祭  
4・17  
4・18  
4・19

神社庁設立七十周年記念  
平成二十八年度神社関係者大会



神社庁 神殿新嘗祭

峡南支部  
支部長 市川行治

平成二十八年の神殿新嘗祭を、  
峡南支部が担当する事になり、  
支部内には専従神職が居ないた  
め、仕事の都合を付けて頂きな  
がらの人員確保に苦勞致しまし  
た。

幸い多くの神職の御協力を頂  
き、奉仕神職六名を確保するこ  
とが出来ました。仕事を休んで  
奉仕して頂いた神職の皆様にご  
感謝しあげます。有難うござい  
ました。



神職研修会の案内

恒例の神職祭祀研修会を左記  
の日程で実施致します。

神職は生涯の研修を通じて己  
を磨くことにより氏子・崇敬者  
の信頼を得ることが出来ます。  
他支部の研修を受けることもで  
きますので、積極的にご参加く  
ださい。

記

一、日時と場所

① 甲府支部

日時 五月に実施予定

場所 山梨県神社庁

② 東山梨・東八代支部

日時 二月二十八日(火)

場所 山梨県神社庁

③ 峡南・峡中・峡北支部

日時 三月十八日(土)

場所 山梨県神社庁

④ 南都留・北都留支部

日時 五月三十一日(水)

場所 未定

受付 八時三十分  
開講 九時

浦安の舞研修会の案内

① 浦安の舞(鈴舞)

日時 三月二日(木)

受付 八時三十分

開講 九時

場所 山梨県神社庁

① 浦安の舞(扇舞)

日時 三月三日(金)

受付 八時三十分

開講 九時

場所 山梨県神社庁

今後の予定

○ 神社庁 祈年祭のお知らせ

神祇祈年祭を左記の日程で斎行いた  
します。

記

一、日程  
二月十四日(火曜・赤口)

一、神祇祈年祭 午後一時三〇分

一、講演 午後二時三〇分

講師 広島県 杉森神社宮司

岡田 光統 先生

「不活動神社対策について」

○ 靖國神社、  
山梨縣護國神社参拝旅行

神道政治連盟山梨県本部では、恒例

となりました靖國神社参拝旅行を左記

の日程で実施致します。詳細な内容に

つきましては現在検討中ですので、決

まり次第ご案内致します。山梨縣護國

神社の参拝につきましては別途開催致

します。

記

一、日程

三月二十九日(水曜・仏滅)